

第 3 期鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）骨子案に 関する意見募集の実施結果について

鶴見区では、第 3 期鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）の策定にあたり、区民意見を反映するために骨子案に関する意見募集を実施しました。区民の皆さまから貴重な御意見・御提案をいただき、ありがとうございました。

実施結果と区としての考え方をまとめましたので報告します。

1 実施概要

(1) 実施期間

平成 27 年 5 月 19 日（火）から 6 月 30 日（火）まで

(2) 周知方法 ※リーフレット配布数：約 2,000 部

ア 骨子案の配布

区役所、地域ケアプラザ、区社会福祉協議会、地域子育て支援拠点「わっくんひろば」、地区センター、コミュニティハウス、国際交流ラウンジ等

イ 関係団体等への情報提供

区自治連合会、区民生委員児童委員協議会、区保健活動推進委員会、区老人クラブ連合会、区障害児・者団体連合会、区社会福祉協議会理事会・評議員会等
ウ 地区別計画策定のための地区懇談会での配布、区ホームページへの掲載等

2 実施結果

(1) 意見総数

総計 6 件

(2) 骨子案項目別意見数

項 目	意見数
推進の柱② 行動目標①「誰もがどこかにつながるような支えあいのネットワークをつくります」 認知症の普及啓発に関すること	1 件
推進の柱② 行動目標④「地域の中で共に暮らすということを意識します」 多文化共生への理解啓発に関すること	2 件
推進の柱② 災害時に備えた障害者への支援に関すること	2 件
推進の柱② 障害への理解啓発に関すること	1 件

3 意見の主な内容と区としての考え方

主な意見の内容	区としての考え方
<p>(推進の柱②の) 行動目標①取組例の「認知症の普及啓発」を「認知症についての理解啓発」と変更してはどうでしょうか。</p>	<p>御意見を踏まえ、「認知症への理解啓発」に表現を改めます。</p>
<p>鶴見区の現状の中で「外国人の方も多く暮らしています」とあります。施設にも多くの外国に関わりのある人が働いています。(推進の柱②の) 行動目標④にもある「多文化共生」の視点は今後もとても重要な事であると感じています。地域の中で外国に関わりのある人々との交流、理解する機会が必要ではないかと思えます。</p>	<p>区の現状や行動目標に対する具体的取組のなかで、多文化共生の視点の内容を盛り込んでいきます。</p>
<p>ますます増加している外国人の方へのケアやマネジメントへの必要性を強く感じます。外国人の増加と共に子供の増加、外国人の障害児・者の人口も増えつつあると思えます。ケアを必要としている人、制度を必要としている人に必ず届くような仕組みづくり、言葉の壁の大きさやどこかにある差別感等、共生共存が自然に出来る風通しの良い人と人とのつながりを望みます。</p>	<p>区の現状や行動目標に対する具体的取組のなかで、多文化共生の視点の内容を盛り込んでいきます。</p>
<p>災害時は特に準備をしても予測不能な事態(親がかけつけられない等)が起るかもしれません。鶴見区所在の養護学校への支援をこれからもご配慮いただきたいと思えます。</p>	<p>災害時に備えた共助の取組については、推進の柱②の行動目標②「見守りの輪を地域全体に広げます」に盛り込んでいきます。</p>
<p>災害時利用のコミュニケーションボードの存在を一部の親が知っています。こちらの普及は進んでいるのでしょうか。学校でも活用できる生徒・児童がいると良いと思えます。</p>	<p>推進の柱②「必要な人に支援が届く仕組みづくり」のなかで、障害者や多様性への理解を促進するための普及啓発や有効な情報ツールの活用、災害時に備えた共助の取組を進めていきます。</p>
<p>計画の中に、障害分野に関する記載をもう少し盛り込んでいただけたらと思いました。特に、精神疾患のある方達に対する理解はまだ進んでいない現状があると思えます。そのため精神疾患の普及啓発に地域と協力しながら今後さらに力を入れて取り組んでいきたいと考えています。(要約)</p>	<p>行動目標に対する具体的取組のなかなどで、障害への理解を促進する視点の内容を盛り込んでいきます。</p>